



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社スタジオアリス

コード番号 2305 URL <http://www.studio-alice.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川村 廣明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 広報・IR室長

(氏名) 田中 和幸

TEL 06-6343-2600

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	15,523	2.7	△2	—	△14	—	△342	—
27年12月期第2四半期	15,108	7.8	△193	—	△173	—	△503	—

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 △358百万円 (—%) 27年12月期第2四半期 △460百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	△20.15	—
27年12月期第2四半期	△29.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第2四半期	27,984	18,632	63.8	1,050.47
27年12月期	28,087	19,755	67.7	1,119.15

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 17,841百万円 27年12月期 19,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	45.00	45.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	39,500	3.6	5,450	2.1	5,430	1.8	2,900	7.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期2Q	17,185,650 株	27年12月期	17,185,650 株
28年12月期2Q	201,318 株	27年12月期	201,258 株
28年12月期2Q	16,984,345 株	27年12月期2Q	16,984,392 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューの手続きの対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(第2四半期決算補足説明資料の説明会内容の入手方法)

第2四半期決算補足説明資料は、平成28年8月10日(水)に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済・金融政策等により、雇用情勢や企業収益に改善の傾向が見られ、緩やかな回復基調であるものの、個人消費の伸び悩みから、消費増税の先送りの判断がなされました。また、イギリスのEU離脱問題や、中国経済の減速など、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、主力である写真事業において、競合他社との差別化強化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みを行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,523百万円（前年同期比2.7%の増加）、営業損失は2百万円（前年同期は193百万円の営業損失）、経常損失は14百万円（前年同期は173百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は342百万円（前年同期は503百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(写真事業)

写真事業は、本格的な入園入学シーズンを迎えた入園入学撮影の推進を図るとともに、5月1日から「早撮り七五三キャンペーン」、5月12日から「七五三お出かけ着物レンタル予約」を開始いたしました。七五三お出かけ着物レンタルは昨年に引き続き平日0円を打ち出しており、早撮り七五三撮影の件数獲得に貢献いたしました。そのほか、お子様の笑顔を撮ることに絶対の自信をもつ当社だからこそできる「百日赤ちゃん 笑顔の写真絶対撮りますキャンペーン」を昨年同様6月に実施し、赤ちゃん撮影の件数獲得に努めました。

国内の出店状況は、移転3店舗を含み14店舗出店、退店6店舗を行い、ショッピングセンター内の区画移動・増床を含む改装を30店舗実施いたしました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、国内こども写真館495店舗（直営店舗485店・フランチャイズ店舗10店）、アミューズメント写真館1店舗、ペット写真館1店舗、韓国の子会社におけるこども写真館3店舗、台湾の合弁会社におけるこども写真館5店舗を含め、505店舗となっております。

以上の結果、写真事業の売上高は15,506百万円（前年同期比3.3%の増加）、セグメント利益は9百万円（前年同期は216百万円のセグメント損失）となりました。

(衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、生産コストの低減活動を継続しつつ、当社向けオリジナルブランド衣装等の生産を行うとともに、本年1月より成人振袖レンタル事業を九州地区で開始し、受注の獲得を推し進めております。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は1,015百万円（前年同期比5.5%の減少）、セグメント利益は219百万円（前年同期比17.1%の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ102百万円減少の27,984百万円となりました。

流動資産は、法人税等及び配当金の支払いに伴う現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末と比べ444百万円減少の10,396百万円となりました。

固定資産は、改装等による有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末と比べ341百万円増加の17,588百万円となりました。

② 負債の状況

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ1,019百万円増加の9,351百万円となりました。

流動負債は、法人税等の支払いによる未払法人税等の減少及び短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ626百万円増加の6,452百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債の増加及び固定負債「その他」に含まれる長期リース債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ393百万円増加の2,899百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,122百万円減少し18,632百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失及び前連結会計年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ910百万円減少し5,446百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、主に税金等調整前四半期純損失197百万円、減価償却費1,616百万円、前受金の増加額627百万円、法人税等の支払額1,236百万円などにより446百万円（前年同期は396百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、主に写真スタジオの新規出店及び既存店の改装・設備追加等にかかる支出2,164百万円などにより、前年同期に比べ306百万円減少し2,102百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、主に短期借入金による収入1,400百万円、配当金の支払額764百万円などにより、前年同期に比べ587百万円減少し748百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までの業績は概ね当初計画どおり推移しており、平成28年2月10日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

（法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正）

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成28年法律第15号）及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」（平成28年法律第13号）が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の32.2%から平成29年1月1日に開始する連結会計年度及び平成30年1月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については30.8%に、平成31年1月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については、30.6%となります。

この税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は30,956千円減少し、法人税等調整額（借方）が同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,818,128	5,907,154
受取手形及び売掛金	825,115	1,088,266
たな卸資産	1,318,871	1,216,538
その他	1,914,528	2,224,405
貸倒引当金	△36,020	△40,000
流動資産合計	10,840,623	10,396,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,525,206	8,492,709
その他(純額)	3,380,232	3,669,292
有形固定資産合計	11,905,439	12,162,001
無形固定資産	1,147,954	1,233,038
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,291,459	3,327,801
その他	1,108,458	1,084,196
貸倒引当金	△206,635	△219,035
投資その他の資産合計	4,193,282	4,192,962
固定資産合計	17,246,676	17,588,002
資産合計	28,087,299	27,984,367
負債の部		
流動負債		
買掛金	255,851	294,076
短期借入金	—	1,400,000
未払法人税等	1,281,894	379,545
賞与引当金	79,809	147,700
その他	4,208,176	4,231,161
流動負債合計	5,825,732	6,452,484
固定負債		
退職給付に係る負債	827,107	876,157
資産除去債務	1,239,258	1,262,941
その他	439,939	760,385
固定負債合計	2,506,305	2,899,484
負債合計	8,332,037	9,351,969

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	15,204,666	14,098,106
自己株式	△275,592	△275,722
株主資本合計	18,870,472	17,763,783
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	137,569	77,674
その他の包括利益累計額合計	137,569	77,674
非支配株主持分	747,220	790,939
純資産合計	19,755,262	18,632,397
負債純資産合計	28,087,299	27,984,367

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	15,108,442	15,523,479
売上原価	11,897,253	12,169,965
売上総利益	3,211,189	3,353,513
販売費及び一般管理費	3,404,231	3,355,532
営業損失(△)	△193,042	△2,018
営業外収益		
受取利息	1,495	1,258
受取家賃	12,704	13,150
受取補償金	23,980	1,352
雑収入	15,622	12,318
営業外収益合計	53,802	28,079
営業外費用		
支払利息	6,749	2,757
為替差損	419	17,893
貸倒引当金繰入額	22,000	13,000
雑損失	5,470	6,682
営業外費用合計	34,638	40,333
経常損失(△)	△173,878	△14,272
特別利益		
固定資産売却益	—	4,199
特別利益合計	—	4,199
特別損失		
固定資産売却損	8,156	—
固定資産廃棄損	234,207	86,307
減損損失	38,673	101,118
特別損失合計	281,036	187,425
税金等調整前四半期純損失(△)	△454,915	△197,498
法人税、住民税及び事業税	325,373	314,561
法人税等調整額	△311,782	△213,516
法人税等合計	13,591	101,044
四半期純損失(△)	△468,506	△298,542
非支配株主に帰属する四半期純利益	35,031	43,719
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△503,537	△342,261

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△468,506	△298,542
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	7,604	△59,894
その他の包括利益合計	7,604	△59,894
四半期包括利益	△460,902	△358,437
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△495,933	△402,156
非支配株主に係る四半期包括利益	35,031	43,719

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△454,915	△197,498
減価償却費	1,475,769	1,616,255
のれん償却額	4,824	4,824
貸倒引当金の増減額(△は減少)	25,290	16,380
賞与引当金の増減額(△は減少)	72,045	69,765
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	44,172	49,050
受取利息	△1,495	△1,258
支払利息	6,749	2,757
為替差損益(△は益)	△1,089	△355
固定資産売却損益(△は益)	8,156	△4,199
固定資産廃棄損	234,207	86,307
減損損失	38,673	101,118
売上債権の増減額(△は増加)	△210,554	△268,153
たな卸資産の増減額(△は増加)	70,385	53,797
仕入債務の増減額(△は減少)	△69,236	38,591
未払消費税等の増減額(△は減少)	△672,414	△322,659
前受金の増減額(△は減少)	491,355	627,846
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△79,010	48,687
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△306,542	△260,029
その他	15,580	22,387
小計	691,951	1,683,612
利息の受取額	2,959	2,338
利息の支払額	△6,749	△2,757
法人税等の支払額	△1,086,938	△1,236,891
法人税等の還付額	2,058	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△396,718	446,301
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,146,225	△1,842,595
有形固定資産の売却による収入	74,572	4,199
貸付金の回収による収入	3,588	3,633
無形固定資産の取得による支出	△232,259	△219,138
敷金及び保証金の差入による支出	△148,259	△103,047
敷金及び保証金の回収による収入	58,466	87,478
その他	△18,800	△32,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,408,917	△2,102,370
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,000,000	1,400,000
長期借入金の返済による支出	△20,000	—
セール・アンド・リースバックによる収入	817,572	749,212
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△697,195	△636,169
自己株式の取得による支出	—	△129
配当金の支払額	△764,297	△764,297
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,336,079	748,615
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,046	△3,521
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,467,509	△910,974
現金及び現金同等物の期首残高	6,551,074	6,357,723
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,083,564	5,446,748

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,015,807	92,635	15,108,442	—	15,108,442
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,994	982,486	984,480	△984,480	—
計	15,017,801	1,075,121	16,092,923	△984,480	15,108,442
セグメント利益 (△は損失)	△216,841	187,341	△29,500	△163,542	△193,042

(注) 1. セグメント利益(△は損失) 調整額△163,542千円には、固定資産の調整額等△54,229千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△109,312千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗及び遊休資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては38,673千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,504,790	18,688	15,523,479	—	15,523,479
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,852	997,232	999,085	△999,085	—
計	15,506,642	1,015,921	16,522,564	△999,085	15,523,479
セグメント利益	9,622	219,409	229,032	△231,050	△2,018

(注) 1. セグメント利益調整額△231,050千円には、固定資産の調整額等△127,071千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△103,978千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては101,118千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。